



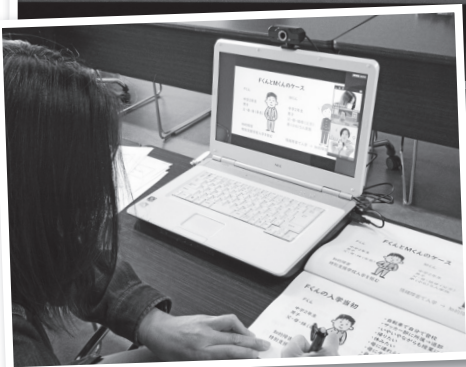
和教組ゆるキャラみぱん

# 2020未来をひらく教育のつどい

「移動に時間がかからず参加しやすい」  
 「来年は集まりたい」

教文部長 岩田 美和

前川喜平氏



画面の共有機能を使って

今年度の教育研究集会は、新型コロナウイルスの感染とインフルエンザの流行を想定しながら、密のままの教室にいる子ども達を目の前にし、教職員に何ができるのかを考える機会になりました。また、これまでに積み上げてきた人との繋がりを土台とし、教研の新たな可能性を広げる「つどい」となりました。

## 今回は是非生出演を!!

記念講演講師の前川喜平氏は元文部科学省事務次官として、今まで携わってきた

た教育行政の問題点を一つ一つ丁寧に分析、反省しながら、コロナ禍で見直した学校教育には、教職員と子ども達にゆとりが必要であり、少人数編成の必要性を訴えました。多様な学びの保障にも言及し、安倍政治が進めてきた「教育再生」での道徳の教科化の問題点を指摘しました。最後には「教育行政と関わる政治そのものを変える必要がある」と説き、東京会場と和歌山の思いを一つにしました。

## 工夫された分科会

二日目の分科会では研究協力者の講座から学んだ

方々や、少人数ながらもオンラインで実際に集まった時と同じ様に進めることができた分科会もありました。初参加、初レポーターで組合に加入したという方もおられました。ZOOMミーティングでは音や画像が出ない、というトラブルもありましたが、皆さんがそれぞれにハードルを越えた様です。「やらないよりやって良かった」「刺激をもらえてわくわくした」「ベテランの方の実践がきけてよかった」という声や、予行練習し調理実習に臨んだ栄養職員部からは、他の実践に対し「プロジェクトXを見ているようだ」



図工は作品が肝!

との感想が寄せられました。

## 伊都地域での交流深まる

伊都教育会館では現地で企画したコロナ禍での交流があり、子どもを真ん中にし、様々な立場から発言がありました。午後から開催された分科会や現地企画の「しゃべり場」には午前の分科会をワープした人もいました。「移動にかかる時間がなく参加しやすい」「やはり来年は集まりたい」と思いは様々ですが、「本当に勉強になった」という青年教職員の感想から、確かな財産が残されたと感じることができました。



この前うちの一年生の娘が学校だよりを持って帰ってきて、そこに全国の学力・学習状況調査のサンプル調査結果というのが掲載されています。それによると娘が通う小学校は全国平均よりも高かったということでした。

この記事を見て学校が常に学力に振り回されているんだなという感じがしました。

和歌山県の学習到達度調査(県学テ)も今年度コロナ禍の中で例年の一〇月実施を二か月遅れの一二月実施されました。

国の学テは年間四〇億の予算が計上されています。この調査を悉皆ではなく抽出にするだけでも他のことに予算を回すことができません。

学力テストではなく、真に子どもたちや教職員が喜ぶ少人数学級などに予算を振り分けて欲しいものです。(2)

# 核兵器禁止条約発効へ！

## 日本も参加を！



二〇一七年七月に国連で一二二カ国の賛成で採択された「核兵器禁止条約」は、二〇二〇年一〇月に中米のホンジュラスの批准により、発効に必要な五〇カ国に達しました。条約は九〇日後の二〇二二年一月二二日に発効し、人類史上初めて、核兵器の「開発」「実験」「製造」「貯蔵」「使用」「威嚇」などすべての行為が国際法によって違法となります。これは、原水爆禁止を訴え続けた被爆者をはじめ世界中の市民運動の成果です。



一方で、今なお、世界には大量の核兵器が存在し、核保有国は「抑止力」を口

実に禁止条約に反対しています。世界で唯一の被爆国である日本政府もアメリカの言いなりで、禁止条約に反対し続けています。

しかし、核兵器禁止条約への参加を求める国民世論はいまや七割を超え、多くの地方議会でも政府に禁止条約への参加を求める意見書を採用しています。核兵器がもたらすものは、「安全」でも「抑止」でもなく「人類の絶滅」で、核と人類は共存できません。核兵器禁止条約が発効する今こそ、日本政府が、核兵器のない世界を実現するための運動の先頭に立つべきです。日本政府に対し、核兵器禁止条約の署名・批准を強く求めていきましょう！

# 武器はいらない 核もいらない

## 女性・母親たちの一二・八平和行動

九条改憲NO！

税金は軍事でなくコロナ対策・防災・くらし・子育て・福祉へ！！

和歌山県母親大会連絡会 事務局長 西川 静代

太平洋戦争開戦から七九年目。開戦日の二月八日を中心に、県下各地で赤紙配布行動に取り組みました。コロナ禍の中で、赤紙を手渡しながら、戦争の歴

史を語り平和について話し合う取り組みは、例年になく困難ではありましたが、それでも、政権が変わっても、憲法をながしるにしようと戦争する国づくりの愚策

を引き継ぎ、突き進むところがかぎり、その目論見をストップさせ、平和な未来を子どもたちに手渡したいと願う私たちの活動をやるわけにはいきません。

7日 和歌山市役所前で



各地で様々な工夫をしながら、平和学習会（那賀）、街頭宣伝（県・和市・日高・西牟婁）、他の取組みとのコラボ（伊都）、地域へのポスティング（県・伊都・海草・有田・西牟婁・東牟婁）、団体内配布（各郡市母連・各団体）など三八の行動に取り組み、合計七〇〇枚を配布しました。和歌山市母連は、七日、市役所周辺で赤紙配布をした後、和歌山弁護士会のランチタイムデモに合流しました。県母連は、八日、JR和歌山駅前で、国賠同盟の皆さんと一緒に宣伝活動に取り組みました。

日高支部教研  
(健康教育)

11月30日(月) 15:00～

# 「感染症防止の取組について

## ～コロナ禍でも仲間と一緒に～

日高支部 名田中学校分会 西村 美幸



三カ月にわたる休校措置の後、六月から学校が再開されましたが、コロナウイルス感染症防止のため養護教諭が中心となり、各校で様々な取組みがされてきました。学校再開から半年が過ぎ、現在の各校での取組みを交流しました。

○体調不良により保護者のお迎えを待つ間、児童を待機させておく別室の用意はしたものの、人員不足のため別室に就ける人

がおらず、仕方なく保健室で待たせている実態。

○教育委員会が飛沫防止ガードを買って市内の小中学校に配布してくれたが、サイズ的に小学校低学年の机の横には掛けられず、全員分重ねて保管するため、使つ度に消毒している。また、下校後の校舎内の消毒の手間が職員負担になっている現状。

○窓を開けて換気しているが、これから寒くなってくるので正しい重ね着の仕方を保健だよりに掲載して指導する予定。

いろいろなことを話すうちに愚痴になったり、笑い話になったり…。参加者はわずか五名でしたが、気の置けない仲間との語らひは、一人では思いつかないアイデアやヒントをもらえたり、気分をリフレッシュさせてくれたりして本当に有意義な二時間でした。

日高支部は今年度の教研集会を中止しました。そのような中でも、それぞれの教科教育研究部が工夫して学習会や講座、紙面での実践報告などにとりくんでいます。



### 恒例!!

# 有田ママパパの しゃべり場



育児休業者からのニーズで再開された有田ママパパのしゃべり場は、育児休暇中のママ五人と子どもが七人、ボランティアには退職教職員の方二人、書記さんなどで総勢一五人の賑やかな会となりました。

みんなで輪になって遊び歌から始めると、遅れて来た子も入り口の方からじりじり寄ってきて、あつと言つ間に真ん中で玩具を受け

取ってくれます。同じ位の

月齢の子ともは、すぐに意気投合し、すぐに喧嘩も始まりです。子どもたちはボランティアの先生にお任せし、その様子を横目にママ同士の交流をするのがリフレッシュになるようです。

小学校の先生は道徳教育やプログラミング学習等、新学習指導要領に変わってからの学校の様子を熱心に聞いていました。また、来年四月に育児休業が明け、

久々に復帰する先生はコロナ禍で学校がどうなっているのかが不安ということと、県内の状況を聞いてくれました。今回初めて参加してくれた先生は一人目の育児休業明けに、権利行使しようとした時、管理職に辛辣な事を言われた経験話を話してくれました。「権



利があるのに使えない」学校現場の多忙化、ゆとりの無さがこの事態を招いています。この様なパワハラ現象が起らない様、まず、このしゃべり場で打ち明け、支部や和教組にも気軽に相談していただければ、と思えます。

# 異例づくしの 2020確定交渉おわる!

書記長 川口 貴生

## 少人数学級への願い結集、変形労働制導入阻止へ大きな前進!

コロナの影響で、今年の確定交渉は異例づくしでした。人事委員会勧告が二回に分かれたため、月例給および県職員との共通課題は

別途交渉となりました。例年、いちばん参加者が多い第四回交渉は一五〇人ぐら

いが集まるのですが、「密」を避けるため五〇人程度に

絞り、その代わりに各支部の教育会館にオンラインで配信しました。

異例とは言っても、内容はいつもと同じく切実な重要課題が山積です。中でも二年単位の変形労働時間制は、職場では校長への申入れ、地区や支部では教育長や議会に働きかけ、全組合員の奮闘で県教委を「慎重姿勢」に転換させました。

長期休業短縮で取得しにくくなっていた、リフレックシユ休暇や結婚休暇の期間延長も実現しました。母性

保護・育児に関わっては、育児部分休業と同様の一日二時間までの休暇(無給)が小学校三年生まで取れるようになり(現行は就学前まで)、養護教員の産前介助が妊娠判明時から配置されることになりました(現行四か月間)。

少人数学級を求める署名は職場や地域の方の協力で

一万筆を超え、教育長は最終回答で「引き続き関係機関に働きかけていく」と約束しました。



### 和教共済WKKからの お知らせ

12月26日から1月4日まで事業センター閉鎖のため、和教共済の業務は、休業となります。

#### 自動車事故等発生時の連絡先

フリーダイヤル(24時間)

**0120-36-7860**

その他のご用件については1月5日以降に ☎073-436-7860 和教共済にご連絡下さい。

#### 年末・年始

#### 県教育会館閉鎖のお知らせ

左記の通り会館を閉鎖しますのでお知らせします。

**12月26日(土)～1月4日(月)**